



話題の新着本

第154回芥川賞直木賞受賞作入荷!

—— 直木賞受賞 —— 「つまをめとらば」

青山文平/著



去った女、逝った妻…。
臉上に浮かぶ、獐犖なまでに美しい女たちの面影はいまなお男を惑わせる。
江戸の町に乱れ咲く、男と女の性と業。

—— 芥川賞受賞 —— 「死んでいない者」

滝口悠生/著



秋のある日、大往生を遂げた男の通夜に親類たちが集まった。一人ひとりが死に思いをはせ、互いを思い、家族の記憶が広がって…。生の断片が重なり合い、永遠の時間が立ち上がる奇跡の一夜を描く。

「異類婚姻譚」

本谷有希子/著



専業主婦の私は、ある日自分の顔が夫そっくりになっていることに気付く…。
「夫婦」という形式への違和感を軽妙洒脱に描いた表題作ほか。

「獅子吼」 浅田次郎著

ライオンも、象も、駱駝も、戦争はしてねがう。時代と過酷な運命に翻弄されながらも立ち向かい、受け入れる、名もなき人々の美しい魂を描く短篇集。



「お伊勢まいり」 平岩弓枝/著

大嵐で甚大な被害を受けた旅宿「かわせみ」の女主人るいたちが、お伊勢まいりに出かけた。のどかな街道風景を眺めながら慣れない旅を続けるが、次々と怪事件が起こり…。



「レプリカたちの夜」 一條次郎/著

動物のレプリカ製造工場に勤める往本は、残業中の深夜、動くシロクマを目撃する。だが、この世界において野生のシロクマはとうに絶滅したはずだった。往本は工場長に呼び出され、動くシロクマの正体を内密に探るよう頼まれる。



「レジまでの推理 本屋さんの名探偵」

似鳥鶏/著

力仕事でアイディア仕事で客商売。書店員は日夜てんでこ舞い。しかも、店長は鮮やかに謎も解きあかし…。書店を舞台に巻き起こる事件に挑む書店員たちの活躍を描いたミステリ。



今月のBEST本 (1月の貸出回数上位本)

「デス・エンジェル」 久間十義/著

北海道の大学を卒業し、東京都下の病院で初期研修医となった森永慧介。だが、そこで直面したのは異様な出来事の連鎖だった。医師、看護師が抱える闇を描き出す衝撃のサスペンス。



「優しい言葉」 群よう子/著

ライバル店の出現、同級生の死…。いろいろありますが、優しい人たちに囲まれて、サンドイッチとスープのお店を楽しく営むアキコ。そんなアキコの家に、兄弟猫がやってきて…。



3・4月のイベント情報

- 3/12 14:00～ おはなし会
- 3/19 14:00～ ポコ・ア・ポコおはなし会
- 3/26 14:00～ おはなし会
- 4/2 14:00～ おはなし会
- 3/19～29 押し花展示会 (わっさむ草花の会)



3月の特集コーナー

出会いと別れの季節に読んでみたい

「大人の心に響く絵本」特集

『100万回生きたねこ』など、大人に人気の絵本の中から、出会いと別れをテーマにした癒やしの絵本の特集です。こどもから大人まで楽しめます!



読み聞かせボランティア

「ポコ・ア・ポコ」

メンバー募集中!

くわしくは図書館まで

